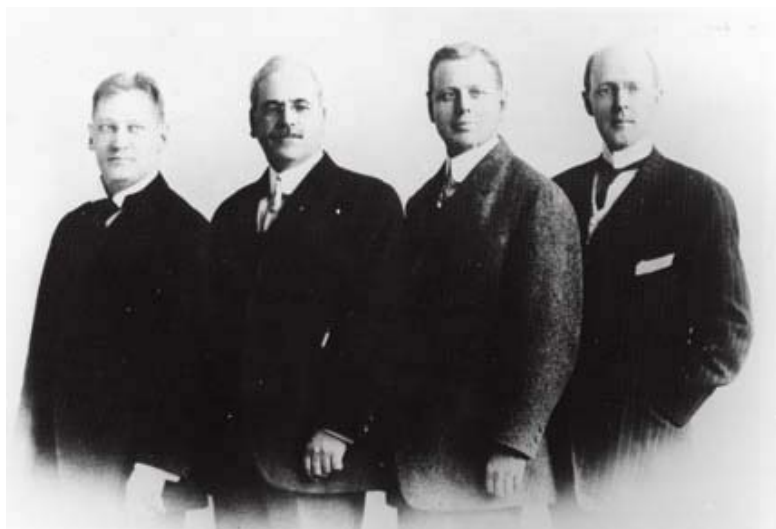


ロータリーの誕生

120万人を擁する組織は、たった4人で始まった



ロータリーのはじめの4人

左から、ガスターバス E. ローア、シルベスター・シール、ハイラム E. ショーレー、ポール P. ハリス

ユニティ・ビル711号室であげた産声

それは、1905（明治38）年2月23日である。このころは、自動車がようやく実用化の段階に入ったばかりで、まだ馬車の方が幅を利かせており、飛行機もそれより約1年ばかり前、ライト兄弟によって発明されていたが、ほんの2～3分間空に浮かぶことができるという程度であった（日本でいえば、日露戦争の終わった年にあたる）。

この年の2月23日の晩、米国イリノイ州のシカゴで4人の人がデアボーン街にあるユニティ・ビルの711号室に集まった。4人というのは、弁護士のポール P. ハリス、石炭商のシルベスター・シール、鉱山技師のガスターバス E. ローア、洋服商のハイラム・ショーレーである。“ガス”ローアの事務所であるこの部屋は狭く、机が1つとあまり掛け心地のよくないすが4つ置かれているほか隅に洋服掛けがあり、壁には写真が1～2枚と工事関係の図表が掛かっている。当時のありふれた事務所であったようだ。4人は、ポール・ハリスが過去5年の間あためてきたアイデアについて語り合った。

簡単にいうと、お互いの事業あるいは職業上の結び付きを通じて、友好的交友関係を築くことができるはずであり、またそうすべきであるというのである。仕事の上での関係が、友情の妨げとなることはない、ポールは考えたのである。

では、ポールが集めたこの4人はどんな人であったろうか。ポールは、その著『THIS ROTARIAN AGE（ロータリーの理想と友愛）』の中で、この点につき次のようなことを書いている。

「湖畔（こはん）の一都市を舞台として、一場のドラマが始まった。このドラマがどんな意義をもつものであるか、何人も予測し得たものはいない。登場人物は、世の平凡な道を行く実業家および職業人であって、必ずしも一頭地を抜くほどの特質を備えた人ではなかった。しかし、一般的な意味で、“立派な人”と表現しても差し支えない人々であり、4人とも気が合っていて仲が良く、めいめい業種の異なる立派な事業あるいは職業を持っていた。彼らは、信仰、人種、政治的意見の相違に関係なく集まった人々なのである」

その晩、711号室で語り合った4人は、話が進むにつれ、職業を通じて結ばれた関係は、個人的な友情に発展させることができるし、またそうすべきであることを、お互いに一段と深く認識し合ったのである。そして、さらに話し合いを続けた結果、このような交友関係をはぐくむためには、何らかのクラブをつくるのが一番良いという結論に達したのであった。

ロータリークラブという名称は、このとき、その場で決められたわけではなかったが、実質的には、1905年2月23日の晩に開かれたこの会合が、世界最初のロータリークラブの第1回の会合となったのである。

第2660地区 大阪

事務局 〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目3番1-1100号 大阪駅前第1ビル11階

例会 毎週木曜日 12時30分 ヒルトン大阪 4F

会長 高田 肇 幹事 田邊 三郎 リング・プログラム・広報委員長 平尾 彰彦

事務局電話(06)6344-0120 FAX(06)6344-0126 ホテル電話(06)6347-7111

E-mail:temma-rc@temmabashi-rc.com http://temmabashi-rc.com



インスピレーションになろう

2018-2019年度RIテーマ

<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

JANUARY 10 2019 NO. 2456

あけまして おめでとうございます

職業奉仕月間

☆☆ 今日のプログラム ☆☆

- 1) 例会 (2456回)
- 2) 国旗およびロータリー旗に礼
- 3) ソング 君が代・奉仕の理想
- 4) 卓話 「会長新年挨拶」

高田 肇会長

次週（1月17日）のお知らせ

- 1) 例会 (2457回)
- 2) ソング ロータリー讃歌
- 3) クラブ協議会

新年の御挨拶

会長 高田 肇

皆様 新年あけましておめでとうございます。平成最後の新年となりました。感慨深いものがあります。会員の皆様には、ご家族で新年を穏やかに迎えになったことと存じます。昨年は災害が多く、異常気象に悩まされました。特に、大阪北部の地震、西日本豪雨、9月の台風21号、北海道の地震、また7月中旬に36度以上の猛暑が襲い、外を歩く仕事の私は、しんどいと言うより苦しく、何度休憩をしたかわかりませんでした。恐怖さえ感じました。しかし大阪万博の開催が2025年に決まるなど大阪の活性化にとって明るい話題もございました。

昨年は、大阪府の青年功績賞授与式に始まり、職業奉仕賞授与式、楽しかった落語を觀賞した秋の家族会、華やかなクリスマス家族会を経て、あっという間に過ぎた上半期でありました。

私達 大阪天満橋ロータリークラブでは下半期には、大阪市の青年功績賞授与式、台北陽明ロータリークラブの周年記念式典への参加、タイの小学校への浄水器の寄贈、春の家族会、児童院での

バーベキュー大会、IM第6組のロータリーデー、ドイツ ハンブルグでの国際大会などの対外事業が多く実施されます。今年新しい年号が決まるなど気持ちも新たなスタートとなります。会員の皆様には、お身体ご自愛していただくと共に、更なる事業へのご参加とご協力を心からお願い申し上げます。

☆☆ 1月度のお誕生日 ☆☆

2日 森本 成俊 7日 吉村 圭太
18日 木川 武利 19日 大矢 平治
23日 鎌田 充生

☆☆ 1月度の在籍表彰 ☆☆

28カ年 郡 悦清 5カ年 田邊 三郎
(以上敬称略)

** 3週間前例会報告 **

☆☆ 会長報告 ☆☆

皆様こんにちは。

早いもので今年最後の例会となりました。

12月15日(土)天王寺区の大手前整肢学園にて、大阪大手前ロータリークラブがホストとなりまして、社会奉仕委員会担当の3世代クラブ合同社会奉仕事業が行われました。

☆☆ 出席報告 ☆☆ ()内は会員総数を基準とした値

国内ビジター	1名	会員総数	50名	12月20日の出席率	86.96%
国内ゲスト	1名	会員出席	39名(46名)	6週間前(11月29日)の	
外国ビジター	0名	出席規定適用免除	19名	マークアップを含む出席率	85.11%
外国ゲスト	0名	会員欠席	6名	マークアップ実施会員	3名(欠席者10名)

午前10時より、整肢学園から天満橋、大手前、中之島各ロータリークラブへの感謝状授与式に始まり、ホスピタルクラウンの道化師によるパフォーマンス、大阪大手前ロータリークラブ岡田会長によるサンタのプレゼント、模擬店のブースでの道化師のパフォーマンスがあり、日ごろ外出する機会の少ない子供たちの笑顔が印象的でした。会長・幹事をはじめ橋本前会長・寺前幹事、高橋委員長、仲西会員に参加いただき有難うございました。

尚、2月8日(金)帝国ホテルで行われます3クラブ合同例会で詳細が披露されます。皆様のご参加を宜しくお願い申し上げます。

それでは皆様平成最後の良いお正月をお迎え下さい。

☆☆ 幹事報告 ☆☆

- ①本日1・2月卓話予定表をお届けしていますので、担当になられた方は3週間前までにテーマ及び卓話者を事務局までお願いいたします。
- ②「新年初例会」のご案内を本日お配りしております。1月10日(木)「新年初例会」前にヒルトン大阪6F 神殿にてご祈祷をして頂きます。会員各位におかれましては11:15に神殿前にご集合お願い致します。
- ③「三世代クラブ合同例会のご案内」を本日お配りしております。出欠のご返事を事務局までお願いいたします。多数のご参加をお願いいたします。
- ④1月17日(木)に開催されますクラブ協議会のご案内を本日お配りしております。出欠のご返事を事務局までお願いいたします。
- ⑤「新入会員歓迎会」が本日18:00から「錦城閣」にて開催されます。関係各位よろしくお願いたします。
- ⑥本日例会終了後「1月度定例理事会」を4F「銀河の間」にて開催いたします。関係各位宜しくお願いたします。
- ⑦次週12月27日(木)は定款により休会にさせていただきます。事務局もお休みさせていただきます。事務局の年末年始休暇は12月28日～1月6日です。

☆☆ 1月度理事会決定事項 ☆☆

・1月17日クラブ協議会運営は例年通りで行う

☆☆ にこにこ箱 ☆☆ 敬称を略す

アリさんに、激動のトルコの情勢を報告していただきます。 福原 哲晃
大阪トルコ日本協会副理事長、ビンギョル・アリ様、本日の卓話よろしくお願いたします。

中村 修
ビンギョル・アリ様、本日の卓話を楽しみにしています。 山本 喬一
誕生日自祝 柳澤 興平
新入会員歓迎会、企画いただきありがとうございます。 小寺 寿矢
新入会員歓迎会、企画いただきありがとうございます。 二宮 彰久
2018年最後の例会。司会よろしくお願いたします。 末澤 正大
在本さん、素適なエレキのテクニックにしびれました!! 川原 和彦

平成30年12月20日 合計金 51,000円
累計金 1,407,000円

☆☆ 3週間前(12月20日)の卓話☆☆

「親日の国トルコは今」
NPO法人大阪トルコ日本協会
副理事長 ビンギョル・アリ 様
福原 哲晃 会員紹介

和歌山県串本沖で1890年(明治22年)に発生したトルコ軍艦エルトゥールル号遭難事事件(串本漁民による懸命な救助活動で68名の命が救われた)が礎となって、以来、日本とトルコは極めて友好な関係となりました。トルコ国民に最も好きな国はどこですかと問へば、その多くが日本だと答えます。その恩返しとして、イラン・イラク戦争(1985年)の最中、トルコ政府は特別機を派遣してテヘランで孤立した日本人を救助しました。

オスマン帝国が滅び、1923年にトルコ共和国が成立。長年の戦争の結果、人口は約100万人にまで激減し(その半数は女性)、極貧のため学校も無く教育も受けられない状態が長く続きました。

教育レベルが向上したのは、ヒズメト運動の創始者フットラー・ギュレンシ師の力によるものです(現在アメリカに避難中)。彼は、人間主義を第一として、宗教にも寛容で、トルコに民主主義を根付かせるため教育問題、貧困問題の解

決に力を注ぎました。

ところが、長期に亘るエルドアン政権下で腐敗が進み、2013年末頃に、エルドアン氏の周辺で大規模な贈収賄事件が発覚しました。そのような状況下で、2016年7月に軍の一部によるクーデター未遂事件が起きたのです。政権は、クーデターに関係したとの嫌疑で、軍人、警察官、医師、教授、学生、公務員、民間人等、多くの人を拘束し、かつ公職から追放する等の大規模な粛清を行いました。また、首謀者としてギュレンシ師の引き渡しをアメリカに求めています。

私は、家族とともに2年前に、大好きな日本に帰化しました。トルコが早く正常化し、安心して故国と往来できるようになることを心から願っております。

——新入会員歓迎会——



30年12月20日(木)18時から天満橋の錦城閣において、小寺寿矢会員と二宮彰久会員を迎えて、総勢28名の会員で新入会員歓迎会を開催しました。

高田会長のご挨拶の後、橋本直前会長の乾杯のご発声とともに歓迎会がスタート致しました。お二人の入会推薦者から両会員のご紹介やエピソードを披露していただき、小寺会員、二宮会員から今後の抱負や決意の披露がありました。その後出席会員の皆様からお二人に、歓迎の言葉やエールが贈られました。最後に西原会員により、お二人の今後の活躍と当クラブの末永い繁栄を願い万歳三唱で閉会となりました。年末のご多忙の折にご参加いただき、皆様ありがとうございました。

会員強化組織委員会一同



☆☆ 本日のランチメニュー ☆☆
立食料理

奉仕の理想
元京都RC
作詞 前田和一郎

奉仕の理想に集いし友よ
元東京RC
作曲 萩原英一

御国に捧げん我等の生業
なりわい

望むは世界の久遠の平和
くおん

めぐる歯車いや輝きて
とわ

永久に栄えよ
とわ

我等のロータリー
ロータリー